

大藏省生拔きの

切れ者

▽藤井真信



相當の

【その三百十】
青天の霹靂であつた、大藏省疑

▼岡田内閣事件が起つたばかりに主計局長閣其者が既に豫想外の出現であつたが世人注視の的たる大藏大臣の椅子に藤井真信君が拔擢されたことは正

▼岡田内閣事件が起つたばかりに主計局長閣其者が既に豫想外の出現であつたが世人注視の的たる大藏大臣の椅子に藤井真信君が拔擢されたことは正

▼岡田内閣事件が起つたばかりに主計局長閣其者が既に豫想外の出現であつたが世人注視の的たる大藏大臣の椅子に藤井真信君が拔擢されたことは正

同年高文合格後大藏省試補となり税務監督官、宇都宮税務監督局勤務を経て、四十五年歐米に出張、歸朝後税務監督事務官より大藏書記官となり、爾來主税局經理課長、大藏省参事官兼大藏大臣秘書官、主税局國稅課長兼營業課長、主税局國稅課長等に歴任

▼高橋前藏
初二年大藏省主計局長と藏次官に昇進藏大臣となつた

力量に於いて又人望に於いて異数の拔擢を受けるに相應はしい新蔵相と云はれてゐる、口も八丁手も入丁といふ遣り手で頭の冷靜なことに緻密なことは省內隨一の稱があつた、生れ拔きの大藏省育ちで殊に税の方で修業してきただけに税制の研究にかけては勝正慮に次いで權威者と云はれてゐる。

▼昔て井上藏相の時代に豫算案の三度編成替へを行つて、さすが剛腹の井上をして舌を卷かせたもので又去る九年度豫算會議に於ては高橋藏相を輔けてその難關を切抜けてゐる。

十時十一時といふ、此は彼が頑張屋であると同時に、不眠不休で働く部下を思つての至情の露でもあつた、新蔵相としての將來は未知數であるが、彼の熱と力を以て突き進めば相當の成果を擧げぬとも限らぬ。

▼岡田内閣が齋藤内閣の延長である限り、彼は高橋財政方針の踏襲者で、ロボットの存在でないとは云へないが、とに角今後の活躍が期待されてゐる。

▼長身瘦軀の新蔵相、惜むらくは健康が勝れない、三五、六年の危局を控へての彼の任や重大、乞ふ好漢自重せよ。

日布時事社
調査部保存

JA-P370.018